

## あとがき

『活断層・古地震研究報告』は活断層研究センターにおける前年度の調査研究結果をタイムリーかつ詳細に報告することを目的としております。具体的には、トレンチの写真やスケッチ、年代測定値、反射断面図、ボーリングコアの柱状図や各種分析結果、地震動や津波の各計算ケースの結果など、活断層研究センターで行った調査研究のデータをすべて公表する方針を採っております。そのため、カラーを多く使い、ページ制限も設けていません。

上記のように、国内外の学会誌とは目的を異にしておりますので、本報告にすでに公表した結果であっても、国内外の学会誌に積極的に投稿するよう奨励しております。本報告の内容については、活断層研究センターの各チームリーダーからなる編集委員会で分担して、原稿の査読・改訂を行ない、一定の質を保つよう努力しております。それでもまだ、報告の内容に問題があったり、編集上のミスが残っているかもしれません。読者の皆様の忌憚のないご指摘やご意見を賜りたくお願い申し上げます。

活断層研究センターの研究成果は、本研究報告以外にも、地質調査総合センターから「大阪盆地3次元地盤構造モデル」「北海道太平洋岸の津波浸水履歴図」などのCD-ROMとしても刊行しておりますし、「全国主要活断層活動予測地図」「大阪堆積盆地の地震動予測地図」「活断層データベース」についても今年度中には公表予定ですので、あわせてご利用いただきたいと存じます。また、産業技術総合研究所地質調査総合センターや活断層研究センターのホームページ (<http://unit.aist.go.jp/actfault/activef.html>) でも最新の情報発信をしております。たとえば、本報告の編集中に発生した2004年10月23日の新潟県中越地震については、地震直後から震源域の地質構造・現地調査の結果などをホームページで公開し、頻繁に更新しています。なお、本研究報告に掲載されたすべての報告のPDF版も上記ホームページからダウンロードできます。

平成16年11月19日

編集委員長 佐竹 健治